

3 月度理事会議事録（2023 年 3 月 14 日（火）開催）

1. 会長報告（2 月 14 日（火）～3 月 13 日（月）出席案件）
 - 2 月 14 日（火）日本人会・理事会 於：本館
 - 2 月 18 日（土）カンチャナブリ慰霊塔法要
 - 2 月 19 日（日）女声コーラス The 31st Annual Concert 於：Siam Society
 - 2 月 21 日（火）天皇誕生日レセプション 於：QSNCC
 - 2 月 24 日（金）成人の日祝賀会 於：本館
 - 2 月 27 日（月）福田副会長の後任・藤様 ご挨拶 於：本館
 - 3 月 10 日（金）タイ東レ科学振興財団 贈呈式 於：Marriott Hotel The Surawongse
 - 3 月 11 日（土）バンコクシティバレエ公演 於：タイカルチャーセンター

2. 退任理事挨拶

- ・田中丞 理事 (Yusen Logistics (Thailand) Co.,Ltd.)
- ・荻原勝一 理事 (Mitsubishi Co., (Thailand) Ltd.)
- ・福田康 理事 (Sumitomo Corporation Thailand Ltd.)

→帰任のため退任、ご挨拶を頂いた。

- ・谷口幸一郎 オブザーバー (Thai Japanese Association School)

→帰任のため退任

3. 一般報告（事務局）

（1）2 月度個人会員動向

入会者 77 名 退会者 149 名 現会員数 4,736 名（内、準会員 24 名 会友会員 213 名）
（前年同月 4,814 名・前年同月比 98.3%）

（2）2 月度賛助会員

〈入会 2 社〉

- ・Hands Management Co.,Ltd.（教育機関 Brighton International School）
- ・Nisa Thai Language School（語学学校）

〈退会 1 社〉

- ・Taiyo Trading (Thailand) Co.,Ltd.

現会員数 517 社（前年同月 521 社・前年同月比 99.2%）

（3）会員優待店

【特典期限更新】

- ・YDM NAKA GOLF ACADEMY

現在の有効店数 61 店舗

（4）2 月度会館来訪者数

本館：延数 391 名（実数 317 名）

別館：延数 2,302 名（実数 743 名）

合計：延数 2,693 名（実数 1,060 名）

(前年同月 延数 1,996 名 (実数 769 名) 前年同月比 134.9% (137.8%))

(5) 会館貸出サービス

・2~4月の法人利用を紹介した。本館・別館ともに、企業の会議利用の為にご予約をいただいている。

(6) 寄付・寄贈報告

・本の寄贈

2名様より、計52冊寄贈頂いた。

(7) 2月度会計報告

・2月度収入は、135万バーツ (前年同月 126万バーツ 前年同月比 107.7%)

・2月度支出は、184万バーツ (前年同月 278万バーツ 前年同月比 66.3%)

・単月収支は、-48万バーツ (前年同月 -152万バーツ 差額 103万バーツ)

・累計収支は、147万バーツ (前年同月 -311万バーツ 差額 459万バーツ)

(8) その他報告

・3月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

4. 共催後援名義・ロゴ使用申請 (事務局)

対象事業名：公開トークイベント「文学に映し出される社会」(仮)

・開催日：2023年4月1日(火) 於：QSNCC

・主催：国際交流基金

・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：スラムオーケストラ日本公演支援のためのチャリティーコンサート

・開催日：2023年3月~4月に複数回実施

・主催：Heart for You財団(サロンオデュタン)

・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：スポーツリズムトレーニング

・開催日：2023年5月7日(日)・5月21日(日)

・主催：JSS Star Platinum

・要請事項：ロゴ使用、広報協力、会場提供

→異議なく承認された。

5. (承認事項) 2023年度予算審議委員会結果報告と審議 (事務局)

【2023年度予算方針】

・12月の理事会で発表している2023年度の予算方針としては、会員数の緩やかな回復を見込み収入は今期見込み並みを確保し、支出については、本年度実績見込み程度として、各部には更なる経費節減の依頼をすることとした。全体・支出予算としては、2022年度基本予算より、-10%を目標とした予算建てを依頼していた。

【2022 年度実績見込】

・現時点での 2022 年度実績見込みは、収入 2,344 万バーツ（予算比 97.4% 前年実績比 110.4%）、支出 2,412 万バーツ（予算比 87.5% 前年実績比 100.2%）収支差はマイナス 42 万バーツ、当初予算-352 万バーツから大きく良化し、次年度への繰越金は 3,574 万バーツとなる。会費収入は、前年実績比で+1.3%、会費外収入は、広告収入が、落ち込むものの、クラブ部の収入が大きく増加し+7.8%となり、全体としては、前年実績比+10.4%となった。各部支出は予算内となり、予算比 87.5%にて終了見込となり、収支差は、-42 万 B となった。

【2023 年度予算・予算審議会案】

・2023 年度予算案は、収入 2,417 万 B（前年予算比 100.5% 前年実績見込比 103.1%）、支出は 2,886 万バーツ（前年予算比 104.6% 前年実績見込比 119.6%）、単年収支はマイナス 468 万バーツとなり、次年度への繰越金は 3,106 万バーツとなる。

・収入予算では、個人会費収入は 4,800 名をベースにしており、賛助会員数（企業会員）についても現状維持の 520 社とした。増収策としては、食堂賃料・電気代の値上げ、英検受験者増、企画推進部イベントの有料化、駐車場収入、法人会館利用の強化を見込んで計上している。

・支出予算については、会員減による消耗品・通信費（送料）の抑制や広報部・HP 関連の予算削減で費用を圧縮する一方、110 周年関連行事・表彰・法要や納骨堂堂守交代、総務費人件費の増、企画推進部新規イベントの増、広報部 HP 機能強化での支出に加え、110 周年を機に外部コンサルタントに依頼し、日本人会を持続可能な組織とするための客観的な意見を求める為の特別予算 100 万バーツも見込んで計上している。外部コンサルタントの業者選定・価格については別途精査し、必要に応じて追加、予算申請をする。

→本予算案は、異議なく承認された。

また、予算審議委員会においては、以下の意見が上った。

・支出について、これ以上の費用削減は、同好会やサークルの補助金など会員サービスを削減することしか方法がなく、限界にきている。

・在タイ邦人の組成が変化中、従来日本人会がターゲットにしてきた層（駐在員とその家族）以外にも対象の幅を広げる必要があり、従来型のアプローチではギャップが生じており、在留邦人が増える中、会員獲得ができない状況になってきている。

・110 周年大型行事については、10 年という節目では必要なし。予算面からも見送り。（10 年表彰の経費は認める。周年法要については納骨堂カンチャナブリ基金から充当しているため実施）大型の周年行事については、120 周年で検討。（タイでは、12 年周りが好まれる為）

・盆踊りの出展については、協賛をつけて収支均衡となること、日本人会側のメリットがあることを条件とする。

・本館について、図書館を廃止、食堂部分を拡張し、家賃収入増加を検討すべきではないか。

6.（情報共有）2023 年度定期総会について（事務局）

・4 月 27 日（木）17 時より臨時総会をサトーン本館にて、18 時より定期総会を Glowfish Studio（日本人会サトーン本館上階）にて開催する。第二部として 10 年表彰式を行い、総会終了後はサトーン本館にて懇親会を行う。今年度はオンサイトのみでの開催とし、会場には 150 席（前方スクール方式・後方シアター方式）を用意する予定である。（360 m²。設備としては、机 50 台・椅子 300 脚用意）

・10 年表彰では、2 月度理事会にて承認された対象者 17 名（理事 1 名・一般会員 15 名・事務局職員 1 名）を表彰する。

・3月10日（金）発送の会報に委任状を同封している。総会には、会員の1/10の出席者及び委任状（約500名）が必要となる。オンラインでも委任状が提出できるようにしているので、各社の協力をお願いしたい。

7.（情報共有）2023年度チャリティーバザーの開催方法について（事務局）

・3月度企画推進部会議にて話し合った結果、開催日は9月23日（土）、会場は外部施設（Holiday Inn Bangkok Sukhumvit）にて調整することとなった。

・内容については、他イベント・業者との協業やステージを設置して同好会の演奏披露、有料での茶道・書道の体験等、買い物以外のアクティビティも検討する。また、出店企業には、寄付商品販売ブースの販売員など、当日のボランティア動員を要請することも検討。

8. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）事業部（日高（日高洋行）理事）

・2月18日（土）にカンチャナブリ慰霊塔法要を行い、新保領事部長をはじめ、約60名の方にご参列いただいた。3年ぶりの開催で、参加者からは改めて慰霊塔について学ぶ良い機会になったとお声をいただいた。また、下記の方より、ご供花・供物など頂いた。

ご供花：在タイ日本国大使館・盤谷日本人商工会議所

お布施：山川喜美代様・川満富子様

お供物：日高龍雄様・吉田幸江様・野々村みつる様・マイベーカー様

・3月21日（火）17:00より日本人納骨堂（ワットリアップ境内）にて日本人納骨堂春季法要を行う。今回より法要後の座談会も再開予定である。座談会は2019年9月の秋季法要以来となる。

・政府補助金墓地管理費について報告した。2022年度88,000Bを政府より納骨堂の維持管理費として補助金を頂いているが、追加予算として80,000Bの追加予算申請が承認された。新保領事部長、待井領事にご尽力頂き、感謝申し上げる。

（2）青少年部（日高（日高洋行）理事）

・2月の活動及び3月の活動予定について報告した。

（3）文化部（吉田理事）

・2/5（日）にクルンテープかるた会にて「第16回小倉百人一首バンコクかるた大会」を開催。3年ぶりにリアル対戦として開催した。日本人35名、タイ人60名の計95名が参加した。その他、2月19（日）に女声コーラスにて3年ぶりとなるアニュアルコンサート「The 31st Annual Concert」をSiam Societyにて開催し、島田会長・田中副会長・吉田文化部長にもご鑑賞いただいた。

・3月の同好会主催イベントとしては、5日（日）に将棋同好会・春季将棋大会、11日（土）にゴスペルクワイヤーPhriks・ミニコンサート、19日（日）にバイリンガル同好会・親子狂言ワークショップ、21日（火）に国際結婚友の会・懇親お茶会、23日（木）にメナム句会・カオニャオ・マムアン茶話会、26日（日）にクルンテープ写真倶楽部・撮影会を開催する。

（4）教育部（田中理事）

・2022年度第3回英検について、2月19日（日）に二次試験を開催したことを報告した。

・2023年度英検についての、試験日程を報告した。第1回検定に関しては、Web申込受付が2023年

4月20日(木)9:00~21日(金)9:00まで(4・5級は26日まで)となり、一次試験を2023年6月3日(土)・4日(日)、二次試験を2023年7月2日(日)に開催する。

(5) 在タイ日本国大使館(新保領事部長)

- ・昨年、本社代表者を騙った者からタイ駐在日系企業に不審な電話があったという注意喚起を出したが、今回も同様の相談が2回あった。いずれも情報チェックをしっかり行っていたので被害は出ていないが、AIを活用しているようで声まで似せている可能性があり、電話番号も本社の番号を相手方に表示させることが可能であると言われている。皆様も気をつけてほしい。
- ・パスポートの紛失・盗難がかなり増加している。
- ・駐在員の自殺・急死が今年になって2件ある。自殺で亡くなられた方がお一人、ゴルフ後に滞在先の部屋で急死された方がお一人いらっしゃった。ともに40代の方。健康には気をつけてほしい。
- ・大麻を売って逮捕されたという事案が出た。また、大麻を使用し酩酊状態になって病院に駆け込んだものの海外旅行保険が適用されず高額な請求になったと大使館へ相談があった。大麻には手を出さないでほしい。
- ・3月27日(月)より旅券・証明書のオンライン申請が可能になる。只今システム開発の佳境になっている。オンラインで申請されたものに関してはクレジットカードでも支払いが可能。
- ・旅券手続きにおいて、3月27日(月)から戸籍謄本の提出が必要となる。また、3月27日(月)からビザページの増補も廃止される為、駆け込みで増補される方が増えている。増補は即日可能である。
- ・政府補助金の墓地管理費については、あくまで日本人墓地の管理という名目で支援しており、宗教施設への支援でないことを理解いただきたい。

(6) 会報・広報部(富永理事)

- ・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラの4誌に掲載する広告を紹介した。ニコラボとダコはウェブ広告のみとなっている。
- ・2月のホームページアクセス状況は、訪問数6,065、閲覧数15,141で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数68.4%、閲覧数70.3%、前月比は、訪問数87.5%、閲覧数86.2%であった。タイからの訪問数は73.4%、日本からは23.5%。前月と比較し、タイからは9.6%減少、日本からは23.0%増加している。日本からの閲覧は、東京、大阪、神奈川、愛知、福岡の順に訪問があった。
- ・LINEは8回の配信、登録者は前月より44名増加し、6,812名(有効者数4,045名)
- ・Facebookは26回の投稿、登録者は前月より23名増の3,203名。
- ・Instagramは17回の投稿、登録者は前月より14名増加し、1,485名。
- ・Twitterは22回投稿し、フォロワーは前月より15名増加の1,211名となっている。

(7) 企画推進部(富永理事)

- ・2月16日(木)・23日(木)に日本人会別館にてJSS Star Platinum Co., Ltd.と共催で大人向けフィットネス&ダンスクラスを開催し、2月16日(木)は7名、23日(木)は19名に参加いただいた。両日ともにアンケートの満足度は100%であった。
- ・2月23日(木)~3月30日(木)の期間でオンラインにてタイ語基礎クラスを開催している。講座委託はJTCA Co., Ltd.。3月2日(木)のビジネス編講座内の特別セミナー(タイ人職員との働き方)は、HRI(Thailand) Co., Ltd.の江草嘉和氏に講師を務めていただいた。各クラスの最終申し込み人数は日常会話編4回コースが11名、日常会話編6回コースが15名(満員)、ビジネス編が15名(満員)となり、2名の方に新規入会いただいた。

(8) 食堂運営委員会(石井理事)

・食堂売上2月は、870,910Bであった。会計件数1,454件、1日あたりの平均売上31,103B（売上があった28日間の売上金額を平均）、会計あたりの平均売上598B（1456件の会計の売上金額を平均）、タイ人顧客は2,454名、邦人顧客は369名、総顧客数2,823名、会員利用者延べ人数は109名、実数65名であった。

・商品売上金額の順位は、1位ちらしスペシャル、2位バラちらし、3位サーモン照り焼き定食。商品個数の順位は、1位ちらしスペシャル、2位バラちらし、3位サーモン照り焼き定食であった。

・予算審議委員会で食堂面積の増加の提案があったが、座席部分を増すと厨房部分も増す必要があり、増床よりも家賃値上げで対応していきたい。

（9）国際交流基金（栗山所長）

・後援承認いただいた4月1日（火）開催の『公開トークイベント「文学に映し出される社会」』は日本ASEAN友好協力50周年記念事業へも申請している。

（10）JETRO（石川代表）

昨年岸田首相が、「アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）」構想を発表し、それに伴い先週アジアの閣僚を集めて閣僚会合があった。それを受けて3月20日（月）にハイブリットでワークショップ・セミナーを開催する。官民あげてどういう取り組みしてるのか等、紹介する。

（11）厚生部（事務局）

・2月の出産準備教室&すくすく会は、性教育講座やプレパパクラス等、10イベントを開催。未入会の方にも多く参加いただいている。

・メイド紹介ボランティアは12件の求職者登録、3件の紹介希望があり、1組成約となった。

・2023年2月24日（金）に2022年度成人の日祝賀会を本館にて開催した。（2002年4月2日～2003年4月1日生まれの方が対象）新成人3名（男性2名、女性1名）、新成人親族8名、島田会長、安江厚生部長に参加いただいた。前日ご都合が合わず、急遽欠席となった新成人1名の方には、記念品（ギフトカード）を郵送した。

（12）婦人部（事務局）

・2月28日（火）に日本人会別館にて「タイ舞踊芸術と古典音楽に親しもう」を開催した。タイ王立舞踊学校にご協力いただき、タイ舞踊と古典音楽を鑑賞いただいた。終了後のアンケートでは9割以上の方に満足と回答いただき、満足度の高いイベントとなった。

（13）事務局報告（事務局）

・3月4日（土）に事務局職員とその家族・総勢16名での社員旅行を実施した。（ナコーンナーヨック日帰り）社員旅行は2019年12月実施以来となる。

・2023年5月5日（金）が政府の通達により中央銀行が休日となった。それに伴い、5月度の三役会・企画推進部会議は実施せず（2月度三役会にて確認）、事務局も休日とすることとした。

9. 2月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

10. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、荻原、田中、福田各副会長、豊田、小田原、米増、日高（日高洋行）、吉田、岩本、富永、堀尾、金子、石井各理事、宮口、井原各監事、新保在タイ日本国大使館領事部長、鈴木 JICA（国際

協力機構) 所長、栗山国際交流基金所長、石川 JETRO (日本貿易振興機構) 代表、海津報道代表、石橋氏 (田中理事後任)、事務局 (村上・安達・松田)